

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

平成28年度 第2回総会議事録

平成28年12月16日

# 福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 平成28年度第2回総会議事録

場 所：ふくしま中町会館 6階「南会議室」  
日 時：平成28年12月16日 午後1時30分～

## 議事の経過及び内容

午後1時30分、遠藤康浩 事務局長（JA福島中央会 農業対策部長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

### 1 あいさつ

川上雅則会長（JA福島中央会 常務理事）

### 2 議長選出

事務局長から、慣例により会長が議長を務めることを提案、議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをした。

### 3 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮り、議長一任の意見があり全員異議なく、議事録署名人に全国農業協同組合連合会福島県本部の渡部俊男米穀部長及び福島県市長会の小松信之事務局長を、書記には事務局を選任した。

### 4 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、本人出席者9団体、代理出席者2団体となり、総会の定足数に達している旨を報告した。

### 5 報告事項

報告事項1 「平成28年度上期内部監査結果の報告について」

議長より「報告事項 1」について説明を求められ、事務局長より内部監査の結果を報告した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑がなく、「報告事項 2」に移った。

## 報告事項 2 「平成 29 年産米の市町村別生産数量目標の算定について」

議長より「報告事項 2」について説明を求められ、事務局長より平成 28 年 12 月 7 日に開催した「米需給情報専門部会」において意見具申内容を決定し、県に通知したことを報告した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑がなく、議事に移った。

## 6 議事

### 議案第 1 号 「平成 29 年産米生産数量目標の地域間調整の取り組みについて（案）」

議長より、「議案第 1 号」について、事務局からの説明を求められた。事務局長より、平成 29 年産米生産数量目標の地域間調整の取り組みの内容を説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑等は無かった。

議長が本案について議場に諮ったところ、挙手による採決で全員賛成のため「議案第 1 号」は可決承認された。

### 議案第 2 号 「平成 29 年産米「制度別・用途別作付計画」等について（案）」

議長より、「議案第 2 号」について、事務局からの説明を求められた。事務局長より、平成 29 年産米「制度別・用途別作付計画」等についての内容を説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑等は無かった。

議長が本案について議場に諮ったところ、挙手による採決で全員賛成のため「議案第 2 号」は可決承認された。

## 議案第3号「30年以降の福島県水田農業の推進方針（案）について」

議長より、「議案第3号」について、事務局からの説明を求められた。  
県水田畑作課長より、30年以降の福島県水田農業の推進方針についてポイント資料により説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ、以下のとおり質疑応答があった。（○：質問・意見、●：回答）

### 【不作付地等の削減について】

- 制度別・用途別作付目標で不作付地等を13,000haまで減らすとあるが、どのようにして減らしていくのか。（県市長会小松事務局長）
- 飼料用米の導入や、中山間地での園芸作物への転換及び集落営農組織による高収益作物の作付推進などを行っていく。（県水田畑作課長）
- そのような取組は今までも行っているはずだが、成果はできているのか。（小松事務局長）
- JAや行政も関わって集落営農の組織化、法人化などにより地域の担い手づくりを徹底して行い、中山間地対応をすすめていくべきと考えている。JAとしても市町村行政と一緒に、そのような地域営農ビジョンをどう描くのか議論していきたい。（議長）
- 事例として、南会津町にあるたていわ農産では、法人化により農地を集約し、そばの作付を増やしている。これにより、貴重な担い手も増えている。行政が管理し、JAが中心になって営農方針を作るような取り組みが耕作放棄地拡大の歯止めにはできると考えている。（県小野農林水産部長）

### 【天のつぶ、里山のつぶの推進状況について】

- 天のつぶ及び里山のつぶにおける生産者リスト化の推進状況を教えてほしい。（全農福島渡部米穀部長）
- 天のつぶは今年産から生産者をリスト化し栽培を行っている。里山のつぶは本年度3haの実証栽培を行い、来年度は250haの作付を目標としている。また天のつぶの専用肥料は全農福島と連携し開発し成績検討の段階にきていると認識している。（県水田畑作課長）
- 主食用の天のつぶの集荷状況が思わしくない。業者からの引きは強いが飼料用米に回っているのが現状。是非とも主食用米の作付を推進して欲しい。（全農福島渡部米穀部長）

### 【30年以降に向けた対応について】

- 30年以降、国による全国ベースでの生産調整がなくて本当に大丈夫なのか。需給調整については県として取り組んでも全体の調整機能がないと需給の引き締めにならないのではないのかと危惧する。何らかの形で国に要望活動を行う必要があるのではないのか。（県小野農林水産

部長)

- 需給見通し等の必要な情報については引き続き情報提供していくので、まずは福島県として需要に応じた生産をしっかりと進めて欲しい。(東北農政局福島県拠点地方参事官)
- 必要な場合は国に対し要望することも検討するので、その際はよろしくお願ひしたい。(議長)

【資料の修正について】

- 資料に軽微な変更点があった場合には事務局の方で修正を行わせていただくのでご了承願ひたい。(県水田畑作課長)

以上の質疑応答後、議長が本案について議場に諮り、挙手による採決で全員賛成のため「議案第3号」は可決承認された。

議案第4号「規約及び諸規程の一部改正(案)について」

議長より、「議案第3号」について、事務局からの説明を求められた。  
事務局長より、国の制度改正に伴い、関係箇所を整備するため、規約の一部と事務処理規程の一部を改正する旨の説明をした。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑等は無かった。  
議長が本案について議場に諮ったところ、挙手による採決で全員賛成のため「議案第4号」は可決承認された。

議長よりすべての議案の審議を滞りなく終了したことへの礼を述べ、議長職を解かせていただくことを議場に告げ退席した。

7 閉会

午後2時40分、事務局長が本総会の閉会を告げた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人がここに署名し、押印する。

平成28年12月16日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人

全国農業協同組合福島県本部 米穀部長

議事録署名人

福島県市長会 事務局長